

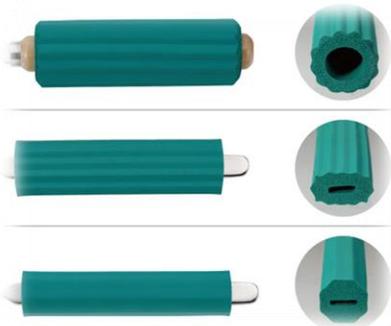
第3回 SSC OTからの情報発信！ ～道具紹介・食器編～

みなさんこんにちは！作業療法士(OT)の駒木です。
SSC OTから月に数回、支援に役立つ情報を発信していきます。
今回は、握力が弱かったり、手先が不器用だったりする子どもの
動作を補助する、「自立支援食器」等について紹介します。

スプーン・フォーク

グリップ

柄に装着し太くすることで、スプーンやフォークが持ちやすくなります。



柄の広いスプーン

柄の幅が広いので、「三指持ち」でしっかり持つことができます。



握り玉

ボールとバーを取り付けることで、五指で安定して持つことができます。



お箸

補助機能のあるいろいろなお箸があるので、子どもの年齢や成長に合わせて、お箸の長さや形態を選ぶことが大切です。

リングつき箸



連結箸



ユニバーサルデザイン食器

すくいやすいお皿

側面に返しがあり、スプーンですくいやすくなっています。また、お皿が深く、底面にすべり止めがあるため、こぼれにくいです。



持ち手付きコップ

握力が弱くても持ちやすいように持ち手が工夫されています。側面に透明な窓があり、飲み物の残りの量が一目でわかります。



他にも、様々な自立支援食器があります。一番大切なのは、その時々の子どもの年齢や成長に合った自立支援食器を選択することです。
様々な食器の中から、使いやすい組み合わせを探してみてください。